

INTERVIEW

01

クリーニング  
工場スタッフ

各店舗で受け取ったお客様の衣服等は、工場内で「Yシャツ」「ダウンコート」、ジャケットやスーツ、おしゃれ着など「その他」に分別されます。その「Yシャツ」の洗濯を主に担当。生地や素材によって振り分け、それぞれ適切な洗濯をしています。



一人ひとりの大切な衣服を、キレイに。  
クリーニングは社会貢献の一環

—— お客様の服を扱う上で気を付けていることは？

私が担当しているのは「Yシャツ」の洗いから仕上げまで。全店舗の衣服が本社工場に集まるので、多い日には500着を取り扱っています。膨大な量を仕分けて洗って、プレスする多忙な現場ですが、その1着は、お客様にとってクリーニングに出したい程の大切な衣類だと思いながら作業をしています。



—— 仕事をする上で心掛けていることはありますか？

もちろんスピードを求められますが、しっかり1着1着の洗濯表示やポケットの中などもきちんと確認することを心掛けています。徐々に仕上がっていく過程を「よし！キレイになった！」と自分の目で確認できるのが嬉しくて、やりがいとなっています。

—— どんな所に成長を実感しますか？

「どうやったらシワがなくなるか？」「キレイなたたみ方のコツは？」など、素早くキレイに出来ず、



苦戦することが多々あります。簡単なようで難しく、常に勉強の日々。それらはテクニックが必要で、経験を積み重ねていかなければならない部分です。しかし先輩方が丁寧に教えてくれるので、少しずつ覚えて出来るようになってきました。そんな時に成長と楽しさを感じます。



—— 工場内の雰囲気は？

工場内は15人ぐらいの社員やパートさんがいて、全員のチームワークで上げています。皆、一人で数人分の仕事をこなしてしまうような、頼もしいベテランスタッフばかり。年代は様々ですが、常に助け合いの精神を持ち、休憩中も和気あいあい、みんな仲良しです。

—— 周りのスタッフとの関係も良いですね

私はまだ初心者なのですが、いつも丁寧に優しく教えてくれて、有り難い限りです。私のような立場の人間でも、改善点や気がついたことを気軽に発言できる環境が整っていて、風通しの良い社風だと感じています。

—— 就職活動をしている学生にメッセージをお願いします

お客様の思い入れのある衣服を、未永く着用できるように、支援をしていく。クリーニングとは社会貢献の一つだと私は考えています。優しく経験豊富なスタッフがサポートしてくれるので、初心者でもしっかり時間をかければ、そんな社会貢献の一助を担えます。一人ひとりの衣服がキレイになっていく様は、お客様と同じ喜びを味わえますよ！

INTERVIEW

インタビューに答えてくれたのは

株式会社 わたなべ  
坂東ユニット本店  
浅野 大さん

Profile

茨城県取手市出身。洋服好きが講じて、クリーニング工場勤務の道へ。特技は太鼓の達人。大会で優勝して、食べきれない程、景品のお菓子を買ったことがあります！

趣味

ウォーキング。10時間半かけて40キロを歩いたことも！

部活orバイト

宅配のバイトを頑張っていました！

学生時代の自分（性格）

休日は都内で遊んだり、アクティブに過ごしていました！



クリーニング工場スタッフの  
オススメポイント  
TOP 3

- 1 衣類がキレイになるのが気持ちいい！
- 2 たくさんの服が見られるのが楽しい！
- 3 働きながら運動不足が解消できる！



詳しい会社情報は P.00 をチェック!!